

第2回 防災推進国民大会 大会主催者 連携セッション

日本学術会議公開シンポジウム / 第4回防災学術連携シンポジウム

大規模災害に備える ～みんなの連携が力になる防災～

小テーマ：防災について学ぶ 「学術研究の成果を防災に生かす」

日時：平成29年11月26日(日) 13時～15時

会場：仙台国際センター 会議棟2階 桜1(200席)

主催：日本学術会議 防災減災・災害復興に関する学術連携委員会、防災学術連携体

共催：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)

国土交通省 国土地理院 【大会主催者(内閣府 防災担当)】

協力：徳島県

参加費：無 料(一般の方は申し込み不要、入場自由)

日本学術会議・防災学術連携体関係者(加盟学会)は以下URLより参加申込をお願いします。

<https://ws.formzu.net/fgen/S88109262/>発表資料は防災学術連携体ホームページに掲載 <http://janet-dr.com/>**趣旨**

人工衛星は、昼夜を問わず、地球に関する膨大なデータを取得し続けている。人工衛星によるデータは精度を高めつつあり、防災・減災、災害復興の幅広い分野に活用され始めている。さらに、リアルタイムでの情報提供につながる超小型衛星によるオンデマンド観測にも期待が集まっている。また、高解像度の人工衛星データ、航空写真、地上での観測、災害復旧状況といった災害に関する様々な時空間的情報を地理情報システム上に重ね合わせて、ハザードマップなどの防災・減災に資する情報や、災害現場の避難、救援、復旧に役立つ情報を迅速に提供することが可能となってきた。本セッションでは、日本学術会議 地球惑星科学委員会の支援のもと、衛星情報の防災分野での利用事例やイノベティブな活用方法を紹介するとともに、地方自治体との連携の可能性、今後の未知の分野とのコラボレーションの可能性を模索したい。

プログラム

- | | | |
|-----------------------------------|---|---------------------------------------|
| 司会 | 田村和夫 | 日本学術会議連携会員、千葉工業大学教授 |
| 13:05 挨拶 | 大西 隆 | 日本学術会議会長、豊橋技術科学大学学長 |
| 趣旨説明 | 米田雅子 | 日本学術会議会員、防災学術連携体事務局長、慶應義塾大学特任教授 |
| 13:10 講演「衛星情報を防災に生かそう(仮)」 | 舘 和夫 | 宇宙航空研究開発機構 宇宙利用統括 |
| 13:30 講演「地理情報を防災に生かそう(仮)」 | 村上広史 | 国土地理院長 |
| 13:50 ディスカッション「衛星情報・地理情報を防災に生かそう」 | | |
| | ※徳島県、日本地球惑星科学連合、地理情報システム学会、日本リモートセンシング学会による | |
| | ショートプレゼンテーション(5分を予定)後、ディスカッションを開始する | |
| コーディネータ | 藤井良一 | 情報・システム研究機構長、日本学術会議会員・地球惑星科学委員会副委員長 |
| パネリスト | 舘 和夫 | 宇宙航空研究開発機構 宇宙利用統括 |
| パネリスト | 村上広史 | 国土地理院長 |
| パネリスト | 福井廣祐 | 徳島県政策監 |
| パネリスト | 高橋幸弘 | 日本地球惑星科学連合 宇宙惑星科学セクション プレジデント、北海道大学教授 |
| パネリスト | 玉川英則 | 地理情報システム学会会長、首都大学東京 教授 |
| パネリスト | 島村秀樹 | 日本リモートセンシング学会副会長、(株)パスコ 中央事業部 取締役 |
| 14:50 閉会 | | |

*同じテーマの学会事例発表の公開シンポジウム(11時30分から13時、同会場)
ポスターセッション(10時00分から17時、同会場)を開催予定